

あなたの 気になる年金記録 もう一度、ご確認を

いまだ約2200万件の持ち主が確認されていない記録が残っています。年金記録に「もれ」や「誤り」があるのではとご心配のある方は、ご確認いただきお近くの年金事務所などにご相談ください。

約9人に1人、年金記録が見つかっています

若いころに勤めていた記録が見つかった
例年額 98万円▶234万円

結婚前の旧姓の記録が見つかった
例年額 43万円▶154万円

名前の読み方が誤って登録されていた記録が見つかった
例年額 0円▶137万円

後納制度の改正で 納付できる期間が延長されました

過去10年以内に国民年金保険料の納め忘れの期間がある人は、申し込みにより平成24年10月から平成27年9月までの3年に限り、国民年金保険料を納めることができる期間が過去2年分から10年分に延長されました（後納制度）。2年以上前の保険料を納めることにより、

- ①将来受け取る年金額が増額
- ②受給資格が得られる可能性があります。

※老齢基礎年金を受け取っている人は申し込みできません。

- 役場住民会計課総合窓口係
☎66-2111 内線123
- 年金事務所
盛岡 ☎019-623-6211
二戸 ☎0195-23-4111
- ねんきん定期便・ねんきんネット専用ダイヤル
☎0570-058-555
月～金・9時～20時、第2土・9時～17時
- 国民年金保険料専用ダイヤル
☎0570-011-050
月・8時30分～19時、火～金・8時30分～17時15分、第2土・9時30分～16時
- ねんきんネットHPアドレス
<http://www.nenkin.go.jp>

研修を終えて

「しっかりコミュニケーションを」

道路が石畳みだったり、山の斜面に築500年以上の建物があったり、日本と違って地震が少ないんだなと思いました。授業では、スペイン語の勉強に映画を取り入れていて、見たり耳を慣らしたり、先生も生徒も熱心でした。初対面でもいきなり仲良くなれるドイツの人たちのように、あいさつなどしっかりコミュニケーションをとれるようになります。



けいた
竹花啓太さん
(新町)

「感謝の気持ちを伝えたかった」

ドイツではお店の人など知らない人でもフレンドリーに話しかけてくれて、それがとても素敵でした。ホストファミリーの方々は、僕の英語をしっかりと最後まで聞いてくれて感激しました。別れ際、感謝の気持ちを伝えたかったけれど、英語で表現できず本当に悔しかったです。もっともっと英語を勉強しなければならないと思いました。



せいこう
鈴木静孝さん
(平船)

「言葉では言い表せない」

ホストファミリーの皆さんが、はじめ緊張して何も話せない私に優しく声をかけてくれたり、気づかせてくれてとても感激しました。すごく親切にしてもらったので言葉では言い表せません。英語が思うように話せなくて本当に申し訳ないと思いました。今回多くの支え、支援をいただきこのような体験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。



みく
坂本美空さん
(茶屋場)

「英語が自然に理解できるように」

会って間もないのにハグしたり、熱い握手を交わしたり、そのおかげで初日からすぐに打ち解けられ、とてもうれしかったです。今回の研修でずっと英語を話したり聞いたりしていたら、帰ってきて最初の学校の英語の授業が自然に理解できるようになっていて、一番の収穫でした。今回のドイツ研修の収穫を、自分の将来の選択に生かしていきたいです。



こうだい
遠藤広太さん
(星野)

「言葉で伝え、後悔のない人生を」

食事は味がちょっと濃く、量が日本の2倍はあってびっくりしました。英語の授業は、英語だけで授業が進められていて、みんな本当に英語が上手でした。ドイツの人たちは生き方、過ごし方が楽しそうで充実していると感じました。今まで自分は何かのせいにしてたり消極的だったので、本当に自分のやりたいことは言葉で伝えたりして、後悔のない人生を送りたいです。



こうへい
山下滉平さん
(浦子内)

第16回欧州視察「ワインとミルクの旅」



ドイツで現地の学生と

充実した研修に笑顔があふれる

葛巻高原食品加工(株)とくずまき高原国際交流推進協議会(中崎和久会長)が主催した第16回欧州視察「ワインとミルクの旅」は、1月10日から1月19日まで行われ、12人の参加者はヨーロッパの旅を満喫しました。

今回の訪問は、鈴木重男町長を団長に、葛巻高校の近藤孝教論が同校2年の生徒5人を引率し、一般町民は5人参加しました。

近藤教諭と生徒たちは、ドイツのマルブルク市で、5日間ホームステイをしながら現地の高校の授業に参加。生徒らは、英語で町や学校のプレゼンテーション(約45分間)に挑戦したり、郷土芸能・葛巻神楽の鶏舞なども披露し交流を深めました。

一般の参加者は、リュネデスハイムのシュロス・ヨハネスベルクワイナリーやニュルンベルクの職人街、酪農とグリーンツーリズムの町・パインティングなどを視察しました。



大樽レストラン前で



ワイナリーで圃場を見学



一般の参加者ら